

# 令和7年度第2回門司区多職種連携研修会 報告書

## 1. 実施概要

① 実施日時 令和8年2月12日（木）19:00～21:00

② 実施場所 門司区医師会館 3階講堂

③ テーマ 『やってみよう人生会議』  
～プロセスを知り、体験する～



④ 内容 第一部 講演 「ACP 毎日が人生会議」  
講師 くにひろ社ノ木クリニック 院長 國廣 充先生

第二部 体験型研修  
ー慢性疾患・在宅療養期の事例で学ぶー



## ⑤ 参加者

種別	人数
医師	2 名
歯科医師	3 名
薬剤師	2 名
保健師・看護師	12 名
介護支援専門員	17 名
社会福祉士	3 名
リハビリ職	2 名
介護職	7 名
その他（事務職等）	3 名
合計	51 名

種別	事業所数	参加者
病院・診療所	9	11
歯科医院	3	3
薬局	2	2
訪問看護事業所	4	6
居宅介護支援事業所	12	17
介護事業所	2	7
介護施設	2	3
行政	1	1
連携支援センター	1	1
合計	36	51

実行委員、理事12名含む ※他講師1名

## ⑥ 内容

時間	内容
18:58～19:00	事務連絡（司会進行 川端歯科医院 院長 川端 賢一先生）
19:00～19:03	開会挨拶（門司在宅医療・介護連携支援センター担当理事 白川 伸一郎先生）
19:04～19:05	講師紹介（座長：辻医院 院長 辻 雄一郎先生）
19:05～19:45	ご講演（くにひろ社ノ木クリニック 院長 國廣 充先生）
19:50～20:40	ロールプレイ実演/記録用紙記入/共有タイム/振り返り/発表
20:40～20:58	まとめ・質疑応答
20:58～21:00	閉会の挨拶（門司薬剤師会会長 松丸 博幸先生）

## 2. アンケート

### 1. 職種について 回答数 33 (回答率84.6%)

職種	
医師	0
歯科医師	1
薬剤師	1
保健師・看護師	9
介護支援専門員	16
社会福祉士	1
リハビリ職	1
介護職	3
その他（事務職等）	1
合計	33



### 2. 研修会への参加動機について（主にあてはまるものに○をご記入下さい。複数回答可）

自己研鑽のため	26	テーマに興味があったため	23
業務の一環として	3	その他（講師の話聞いたかったから）	1

### 3. 本日の研修会はいかがでしたか。該当するものをひとつ選んで下さい。

大変参考になった	24	参考になった	9
参考にならなかった	0	未回答	1

上記を選んだ理由を教えてください。

人生会議というものをどう進めていき、どうまとめていくか参考になりました。
実際の事例を用いての学びがとても良かったです。國廣先生の温かなお人柄に心打たれました。
講話やロールプレイを通じて、國廣先生の温かなお人柄に心打たれました。
ロールプレイで人生会議の方法、具体的な声かけ、流れなどポイントがわかった。
本人主体で人生会議、安心する環境の設定は重要。
ご家族、本人の気持ちをどう引き出すか、どのように問うとうまく進められるかが少しわかった。 (自分は意見書は出すが会議に出たことがなかった。) 訪問時にもっと本人家族の気持ちを聞くようにしたい。(気持ちは変わるので)
「何かを決める場ではなく意見をきく場」が心に残った。
事務職でなかなかこのような会議に参加する機会がないので非常に勉強になりました。
多職種が一堂に会するのは難しいかもしれないが、それぞれが思いの丈を伝えられる場を設定する事がとても大事だと痛切に感じた。その前段階として本人家族のライフイベントを事あるごとに聞き取っていく様にすれば良いのだと、当たり前前の事が腑に落ちた研修会であり、とても有り難かった。

### 4. 今回のロールプレイ研修を通して人生会議（ACP）の進め方（プロセス）の全体像は掴めましたか。

よくつかめた	9	おおむねつかめた	22
どちらともいえない	1	あまりつかめなかった	0
つかめなかった	0	すでに日頃の支援の中で実践できていると感じた	0

5. 人生会議（ACP）に関わる中で、難しいと感じることを教えてください。（複数回答可）

どこまで踏み込んで話してよいか迷う	16
本人の意向の聴き取り	13
他職種との連携や情報共有	10
時間の確保が難しい	5
支援者側としての心構え・メンタルケア	5

医療の話題の切り出し方	4
家族の意見が強い場合の対応	22
継続して話し合うことが難しい	8
自分の職種・立場でどこまで関わればよいか分からない	7

6. 人生会議（ACP）が広まるにはどうしたら良いと思いますか。（複数回答可）

元気なうちから市民への啓発活動が必要	18
かかりつけ医をはじめとした医療職の理解が進むこと	22
病院でも日常的に取り組みれること	16
在宅関係者がチームとなって取り組むこと	14
従事者が学び合い、相談できる場があること	10
事業所内でまず取り組んでみる	1
話し合いのきっかけになるツール（手帳・質問シート等）があるとよい	9
情報を記録し、引き継ぎやすい仕組みがあるとよい	1
個人的に取り組んでみたい	1
忙しい中でも取り組めるよう、時間を確保しやすい体制があるとよい	9

7. 他機関での取り組みについて、特に知りたい事業所の種別を教えてください。（複数回答可）

病院	12	診療所	7	介護保健施設	6	通所介護	2
訪問看護ステーション	8	居宅介護支援事業所	8	訪問介護事業所	5		

8. 今後の研修会で希望されるテーマや、聞いてみたい講話内容、講師名など自由にご記入下さい。

- BCPの中での地域とのつながりについて。
- 認知症の方への対応。
- ケアマネさんがプランを作っておさっていますが、同居のご家族様がいらっしゃるのに、ヘルパーの支援内容（家事、掃除、洗濯、買い物、調理、寝具交換）を詰め込む方がいます。毎日ヘルパーが入って、家事支援をするように言われます。家族は仕事をされていますがヘルパーが毎日掃除をすることが必要なのか？と疑問に思うことがあります。プランのことを聞いてみたいです。
- 他職種や他施設の現状が知りたいです。

